

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No.30

平成25年9月1日発行



猛暑なんて
へっちゃら!!

豊富保育園の元気な園児たち

9月定例会の予定・・・P15

6月定例会で決まったこと・・・P2
審議結果・・・・・・・・・・・・P6
市長の行政報告・・・・・・・・P7
一般質問に9議員・・・・・・・・P8
委員会レポート・・・・・・・・P12
市民の談話室・編集後記・・・P16

条例改正めじろ押し!

平成25年第2回定例会が6月11日から21日までの11日間の会期で開催され、専決処分の承認8件、条例案件3件、平成25年度補正予算13件が提案され、審議されました。

専決処分の承認

中央市税条例中改正

おもな改正

- * 復興特別所得税の導入に伴うふるさと寄付金税額控除の見直し
- * 延滞金等の利率の見直し

国民健康保険税条例中改正

おもな改正

- * 国民健康保険から後期高齢者医療に移行した者を国保加入者とみなし減額算定を行う措置を移行後5年目までだった要件を撤廃し、恒久措置とする。

ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正

おもな改正(次の条文を加える)

- * 父又は母が配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(平成13年法律第31号)第10条第1項の規定による命令(それぞれの母又は父の申立てにより発せられたものに限る。)を受けた児童

平成24年度一般会計補正予算(第7号)

2億248万6千円を追加し、総額119億148万5千円に

おもな内容

歳入

地方消費税交付金	70,992千円
特別地方交付税	203,322千円
財政調整基金繰入金	▲48,599千円

歳出

職員人件費減額分	▲37,873千円
財政調整基金積立金	424,818千円

平成24年度特別会計補正予算

	補正額	総額
国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	▲220万4千円	31億3,415万2千円
介護保険特別会計補正予算(第3号)	▲1,647万8千円	16億5,894万1千円
簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	▲134万9千円	1億9,281万9千円
下水道事業特別会計補正予算(第5号)	▲4,250万円	11億9,166万5千円

国の法律改正に伴う

条例改正

重度心身障害者医療費助成 条例中改正

おもな改正

*従来、自己負担分は支払をせず、医療機関等が市町村に請求し支払を受けることが、受給者が請求して受けたこととする「窓口無料化方式」から、受診時にいったん自己負担金を支払い、医療機関等は自己負担金を支払ったレセプト情報を市町村に提供することで受給者から請求があったものとして自動的に助成金が支払われる「自動償還払い方式」に変更するもの。

反対討論

重度心身障害者医療費助成条例中改正

重度心身障害者医療費助成の窓口無料制度を廃止し、自動償還方式に移行させるというものであり、反対する。

窓口無料化は20年以上に及ぶ粘り強い運動によって実現した進んだ制度で、市内でも850人余りが窓口負担なく医療を受けられ、喜ばれている。窓口無料化をやめて、医療機関窓口で3割を払うことになれば、負担は大変なもので、受診を諦めてしまうのではないかと危惧

されている。「どうしてこんな面倒なことをするのか」「現行の窓口無料のままのほうが良い」という声が出ており、重度障がい者の皆さんは納得していない。窓口無料化を求める声に背を向け、国からのペナルティーを重度障がい者の方に押し付けるべきではなく、市としても県に対して窓口無料を継続するよう強く働きかけるべきである。

報 告

- ・平成24年度一般会計予算繰越明許費
1億6,105万6千円
- ・平成24年度下水道事業特別会計予算繰越明許費
7,500万円
- ・平成24年度一般会計予算事故繰越
199万5千円
- ・平成24年度一般会計予算継続費の逡次繰越
154万4千円
- ・和解及び損害賠償額の決定



あわただしい窓口

平成25年度

一般会計補正予算(第1号)

1億4,830万円を追加

総額112億1,903万7千円に

おもな補正内容

総務費	行政事務電算化管理事業	236万1千円
民生費	地域密着型サービス拠点整備補助金	1億1,600万円
衛生費	成人風疹ワクチン接種助成事業	270万円
農林水産業費	大鳥居線林道橋点検業務	250万円
土木費	田富ふるさと公園トイレ浄化槽改修工事費	338万7千円
教育費	玉穂海洋センター改修事業	1,514万2千円



建設中の地域密着型サービス拠点施設

反対討論

平成25年度一般会計補正予算(第1号)

重度心身障害者医療費助成条例中改正を実行する予算が含まれており、賛成できない。

平成25年度

田富よし原処理センター
事業特別会計補正予算(第1号)

530万3千円を追加

総額6,281万9千円に

おもな補正内容

管渠移管資料作成及び管渠整備
計画策定業務委託 530万3千円



リバーサイド地内の下水道管調査

地方交付税の減額に伴い

追加議案**特別職および職員給与を削減****条 例 制 定**

■ 職員給与の臨時特例に関する条例制定

地方交付税の削減等による厳しい財政状況に鑑み、一層の歳出削減が不可欠であることから、職員の人件費を削減するため、職員に対する給与の支給に当たって、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、減額して支給する措置を講ずる。

■ 市長等の給料の臨時特例に関する条例制定

職員給与削減に鑑み、市長、副市長および教育長に対する給料の支給に当たって、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、減額して支給する措置を講ずる。

反 対 討 論

職員給与の臨時特例に関する条例制定

国による地方自治の不当な介入である。国が国家公務員の削減措置に準じて一方的に下げ幅を決め、強制する前提で地方交付税を減額するのは、地方公務員法で定められた原則を踏みにじるもの。公務員給与を削減することは民間労働者の賃金引下げにつながり、地方経済を一層疲弊させ、デフレ脱却に逆行するものであり反対する。

平成25年度補正予算

給与削減措置に伴う人件費を

総額3,958万7千円減額

《おもな補正内容》

- ・ 給与削減措置に伴う職員人件費及び各特別会計繰出し金の減額
- ・ 上水道事業会計については、給与削減措置に伴う職員人件費の減額

■ 一般会計補正予算（第2号）

4,432万6千円を減額し、総額111億7,471万1千円

■ 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

128万2千円を減額し、総額31億5,116万7千円

■ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

14万8千円を減額し、総額1億9,588万4千円

■ 介護保険特別会計補正予算（第1号）

348万5千円を減額し、総額17億1,370万6千円

■ 地域包括支援センター特別会計補正予算（第1号）

48万円を減額し、総額2,564万3千円

■ 簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

83万4千円を減額し、総額2億222万4千円

■ 下水道事業特別会計補正予算（第1号）

196万6千円を減額し、総額13億5,109万7千円

■ 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

14万4千円を減額し、総額2億6,705万7千円

■ 田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第2号）

35万1千円を減額し、総額6,246万8千円

■ 工業用地整備事業特別会計補正予算（第1号）

19万4千円を減額し、総額1,683万7千円

■ 上水道事業会計補正予算（第1号）

19万8千円を減額し、総額2億2,927万2千円

反 対 討 論

特別会計については、4月の人事異動による増減分も含めての補正

給与削減措置に伴う職員人件費の減額に関する一連の補正予算
先に反対した職員給与の臨時特例に関する条例制定を実行
する予算が含まれているため反対する。

平成25年6月定例会審議結果

○賛成 ●反対（伊藤公夫議長を除く）

種 別	案件名	議 長	副 議 長	中 央 フ ォ ー ム						市 民 ク ラ ブ		公 明 党		日 本 共 産 党	無 所 属		結 果	
		伊 藤 公 夫	小 沢 治	田 中 一 臣	福 田 清 美	田 中 健 夫	名 執 義 高	河 西 茂	小 池 章 治	山 村 一	井 口 貢	小 池 満 男	設 楽 愛 子	田 中 輝 美	木 下 友 貴	大 沼 芳 樹		保 坂 武
専決 処分	・ 専決処分の承認を求める件(中央市税条例中改正の件) ・ 専決処分の承認を求める件(中央市国民健康保険税条例中改正の件) ・ 専決処分の承認を求める件(中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正の件) ・ 専決処分の承認を求める件(平成24年度中央市一般会計補正予算(第7号)) ・ 専決処分の承認を求める件(平成24年度中央市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)) ・ 専決処分の承認を求める件(平成24年度中央市介護保険特別会計補正予算(第3号)) ・ 専決処分の承認を求める件(平成24年度中央市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)) ・ 専決処分の承認を求める件(平成24年度中央市下水道事業特別会計補正予算(第5号))		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例 制定 改正	・ 中央市重度心身障害者医療費助成条例中改正の件 ・ 中央市職員給与の臨時特例に関する条例制定の件	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	・ 中央市長等の給料の臨時特例に関する条例制定の件	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度 補正 予算	・ 平成25年度中央市一般会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市一般会計補正予算（第2号） ・ 平成25年度中央市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市介護保険特別会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市地域包括支援センター特別会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市下水道事業特別会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	・ 平成25年度中央市田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・ 平成25年度中央市田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第2号） ・ 平成25年度中央市工業用地整備事業特別会計補正予算（第1号） ・ 平成25年度中央市上水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決

市長の

行政報告

6月
定例会

長期総合計画

後期基本計画を基に 市政運営に取り組んで参ります

中央市長 田中久雄

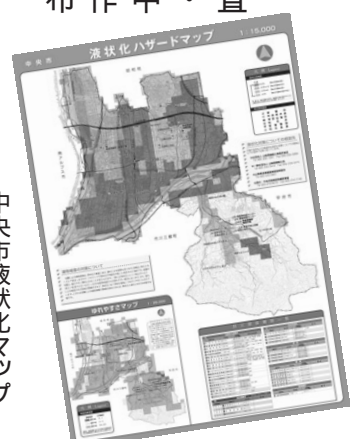
各施策の進ちょく状況

長期総合計画 後期基本計画の策定

今後3年間の主要事業の方向性を定め、効率的・計画的な施策推進を目的に、事業の進ちょく状況を見ながら、毎年度計画内容の見直しを行います。

液状化マップの 作成・配布

土地利用時の地盤調査や、建物や周辺の対策・検討の促進を目的に、「中央市液状化マップ」を作成し、市広報7月号配布時に全戸配布します。



中央市液状化マップ

災害時相互応援協定

東京・山梨など9都県の78市町村で災害時相互応援協定を締結し、応援物資・資機材の提供や、応急復旧に必要な職員の派遣など、応援協力を行います。

大人の風疹ワクチン 予防接種費一部助成

風疹の流行が過去最悪のペースで続いていることを受け、20～40代の男女を対象に、予防接種費用の2分の1を助成する事業を実施します。

ボトルドウォーター 製造事業

5年間保存できるペットボトルが開発され、昨年度より安価に製造できることになりました。

市立図書館

人口3万人未満の全国64市の図書館で、貸出件



リニューアルしたボトルドウォーター（左）

第6回中学生 海外語学研修

数・蔵書冊数・図書購入数・予算額で全国トップとなり、4冠を達成しました。

8月7日から13日間、オーストラリア・ケアンズ市で実施され、現地中学生との交流やファームステイ、ホームステイを通し、国際性豊かな子どもの成長に期待しています。

Q

魅力ある住空間、
景観形成の推進は
市民提案を生かし
策定する

A

福田 清美 議員

福田議員 中央市景観計画策定の進ちよく状況は風景づくり市民プランの提案をどのように反映させるのか。

市長 23年4月に景観行政団体となり、景観条例の制定に向け、取り組んでいる。

建設部長 市民アンケート調査、市民懇談会の提言をもとに、庁内検討委員会を立ち上げ、今年度中に景観計画を策定し、26年度に景観条例を制定



転落防止措置をした通学路

の予定。地域の特性や課題を検討し、景観エリアの設定などに、貴重な市民提言を生かす。

福田議員 通学路危険箇所の継続的な点検と、解消に向けての整備計画は。

街路灯・防犯対策等防犯施設の整備推進について。

市長 自治会と早急に協議し、街灯の設置をしたい。

教育長 一斉点検で対策が必要とされた39力所

A

市全体で盛り上げたい

Q

国民文化祭の取り組みは

の内35力所の改善対応が終了、未対応の4力所についても早期に解消したい。市民ボランティアの方々の協力をいただきな

がら、引き続き万全の体制を整備していく。

【関連質問】

▼大沼議員「通学路について」

河西 茂 議員

河西議員 国民文化祭の情報を広報「ちゅうおう」で毎月特集し、掲載しては。

市内著名人の美術作品等を展示する企画展を同時開催しては。

国民文化祭を契機に、市の文化祭を見直し、子ども参加作品、特別企画展等を取り入れては。

教育長 ホームページや広報紙を存分に活用するとともに、道の駅等でのポスター掲示、近隣自治体の催し参加を通じたPRに努める。

誰にどのような作品を

お願いするのか、会場スペースをどう確保するのか等が課題となるが、盛大に開催できるよう特色ある企画を検討していきたい。

文化協会の皆様と協議し、活性化に努めたい。

河西議員 エネルギーの地産地消についての基本的な考えは。

公共施設での再生エネルギー活用計画は。

市内の再エネルギー関連事業への支援および関連企業誘致の考えは。

市長 生活環境の向上と循環型社会の確立を目



国文祭に出演した粘土節

指し、新エネルギーの活用を図っていく。

市民部長 地域の特性に合った新エネルギーの導入と省エネルギー活動を積極的に進め、快適で環境に配慮した社会の実現を目指していく。

田富第3保育園での太陽光発電を計画。図書館、学校等への導入も検討する。

田富福祉センターの地中熱ヒートポンプシステム導入については、今後の普及促進支援をしていきたい。関連企業誘致には積極的に取り組む。

小池議員 中央市の家電等の回収状況を踏まえ、課題と市長の認識を伺う。回収とリサイクルの取り組みは。

市長 適切なリサイクルは有用金属の回収と再資源化、鉛など有害物質の適正処理などのメリットがあり、ごみの減量化にもつながると考えている。

市民部長 認定業者と

Q 小型家電リサイクル法への対応は

A 市民の理解と協力を得て浸透させる

小池 章治 議員

小型家電リサイクル法の対象品目



協議しながら、市民のニーズを把握し、回収方法と品目選定については、中巨摩広域事務組合や近隣自治体とともに検討したいと考えている。

【関連質問】
▼福田議員「リサイクルについて」

小池議員 環状線を活用した市の発展と周辺の開発は。

小井川駅周辺の改修は。浅原橋架け替えと、西花輪交差点改良に伴う交通量予測は。東花輪駅前の車の流れは。

市道1031号線の利用計画と見通しは。

建設部長 27年度までに、道路網計画の指針をまとめる。リニア新駅および路線の決定に合わせ、公共施設、アクセス道路等の整備計画を推進させる。

アクセス道路の整備、拡幅に努める。

事業主体の県は交通量調査を実施していない。渋滞は緩和されるが、交通量に大きな変化はない。

Q 長期総合計画 道路建設と周辺整備は

A 27年度までに道路網の指針をまとめる

小池 満男 議員



改修が望まれる小井川駅周辺

と考えている。東花輪駅前広場の整備完了により安全で機能的な流れになった。

県の事業として、田富西通り線と昭和バイパスとの接続が、27年度までに完成する計画。

リニア新幹線と身延線の良好なアクセス環境の整備促進を要望していく。

小池議員 市の未来像は。

身延線の活用策は。リニア駅から身延線へのアクセスは。

市長 リニア効果を最大限享受するため、委員会を近日中に立ち上げ、リニア活用の基本方針を策定したい。

関係機関と連携し、リニア新駅に近い身延線の特性を生かした活用策を検討する。

財政運営計画の健全化は

施策を着実に推進する

大沼 芳樹 議員

大沼議員 18年度から23年度までの合併特例債による事業費と事業内容について。24年度から25年度の見込み額は、21年度から、合併特例事業債を基金積み立てしているが、どのような事業に使えるのか。合併後の新市建設計画の進捗状況と、今後の事業計画は。

市長 まちづくり振興基金は、市の一体感の醸成に資する事業、地域行事の展開、自治会や商店街の活性化対策等に充当できる。

第一次中央市長期総合計画に基づき、合併特例債を活用した事業など、着実に推進してきた。昨年度、前期5カ年の取り組みを検証し、後期基本計画を策定した。本年度は、総合計画のアクションプランである実施計画を併せて策定した。

総務部長 18年度から23年度までは、明るいまちづくり拠点施設整備・まちづくり交付金事業・区画整理関連事業の15億850万円など、合計18事業、36億2,060万円。24年度の確定額は、合計4事業2億1,750万円。25年度の見込み額は、2事業1億1,800万円。

【関連質問】

▼木下議員「財政運営について」

防災計画は

防災力の向上に努める

田中 輝美 議員

田中議員 今年度の防災訓練のポイントは。防災リーダー育成の研修計画は。女性を対象とした、防災研修の実施は。

総務部長 22年度86・8%、23年度94・6%、24年度88・0%が市民満足度。95%以上を目指す。アンケート、市長への手紙や電話にて戴いたご

市長 昨年、防災計画を改訂。訓練や研修を積み重ね、防災力の向上に努める。

総務部長 避難所運営訓練を重点に市民参加による実施する。県と共催で地域防災養成講座や研修会を計画している。

女性の視点を活かした対策の見直しや研修会等の実施を検討する。

田中議員 窓口サービスの満足度指数は。市民の不満の把握は。改善の方法は。



ミストシャワーで熱中症対策

意見は幹部会を通じ周知している。

各種研修に積極的に参加し、意識改革・業務改善に取り組んでいく。

田中議員 ミストシャワーの設置を。

教育長 5校で実施中。全校設置に努力したい。

【関連質問】

▼名執議員「市民サービスについて」

▼河西議員「AEDについて」

循環型社会の構築は

積極的に取り組む

設楽 愛子 議員



設楽議員 生ゴミの資源化は、
リサイクルの現状と目標は。

市民意識向上のための
方策は。
太陽光発電システムの
公共施設への設置は。
市長 豊富地区では、
とよみクリーンセンタ
ーで堆肥化し、農地に還
元している。簡易式コン
ポストや生ゴミ処理機の
購入に補助制度を設け、
ゴミ搬出量削減と再資源
化の推進を図っている。
現在、玉穂総合会館と



EM菌を活用し生ゴミを堆肥化(峡南衛生組合)

3つの小学校に設置して
いる。市地球温暖化対策
地域協議会の考えを踏ま
えて検討・協議を進め、
可能な限り積極的に対応
していきたい。
市民部長 24年度の容
器包装リサイクル品目の
回収は516トン、前年
対比0・7%増。新聞紙
などの資源ゴミは896
トン、5・5%減。小型
家電回収の導入を検討し
ている。
広報紙等での啓蒙、環
境衛生委員会やエコライ
フ推進委員会の取り組み
を通じ、意識の向上を図
る。

設楽議員 介護マークの
導入は。

保健福祉部長 先進的事
例として参考にした。24
年9月から地域包括支援



もう一つの被ばく
電磁波から子どもを守る



安全基準に沿って対応する

名執 義高 議員

名執議員 電磁波の危
険性についての認識と健
康被害は。

市内の携帯電話基地局
の設置状況は。

子どもの学習環境と健
康を守る対策は。

独自調査による電磁波
環境の改善について

保健福祉部長 電磁波
の発生源は激増している。
総務省の検討会の動向等
を注視する。

市民部長 101基地。
学校・保育園の100メ
ートル以内の設置は4基。
現時点において、独自
調査は考えていない。

センター窓口で、希望者
に配布している。認知度
が低いので、広報・周知
に努める。

教育長 WHOのガイ
ドラインを踏まえ、国内
外の動向を注視し、敏速
な対応を取っていく。

名執議員 リニア駅の
複合施設化に関わる、市
の負担と効果は。

コンクリート製フード
は、景観上マイナスだ。
リニア実験線の磁気の
測定値は。

市長 具体的な金額は、
詳細未定のため算出でき
ない。今後、リニアを最
大限活用するための基本
方針を策定する。

関係団体と連携し、景
観にも配慮した騒音対策

の検討・変更を要望した
い。

総務部長 JR東海の
資料では、沿線磁界およ
び車内磁界は、国際非電
離放射線防護委員会の基
準値を下回る実測結果が
確認されている。

【関連質問】
▼河西議員「リニアについ
て」
▼福田議員「電磁波につい
て」



学校周辺の電波塔

生活保護基準額の 影響の推定は 現時点では推計できない

木下 友貴 議員



店舗に設置された太陽光パネル

木下議員 太陽光発電設置補助事業の対象を集合住宅や商店にも拡大を。
市長 県や他の市町村も本市と同様の基準。現時点で対象の拡大は考えていない。
木下議員 生活保護基準額削減の影響を受ける制度の推定は。影響を最小限に抑える対策は。速やかな認定と、法外保護の活用状況は。
保健福祉部長 生活扶助基準額が他の支援制度の目安。保育料の免除

基準等に影響する。具体的な額は現時点では推計できない。

14日以内に可否認定を実施。24年度、生活福祉資金貸付事業は2件、福祉金庫貸付事業は21件の支援を実施。

市民部長 住民税の非課税限度額、高額医療費、国民年金保険料免除等に影響が予想される。

教育長 就学援助費には影響ないと想定。

木下議員 元気臨時交付金の交付額は。事業に対する補助率は。施策展開の方針は。

市長 交付限度額は1,799万6千円。単独事業には100%充当できる。

当初予算の市道の改良に組み替えて充当する。

【関連質問】

▼福田議員「生活保護について」

▼小池章議員「太陽光発電助成について」

質問内容の詳細については市ホームページをご参照ください。
<http://www.city.chuo-gamash.jp>

総務教育常任委員会

審査ポイント

合併特例債の貸付利子と基金利子の状況は

▼平成24年度一般会計補正予算（第7号）

総務課

問 地域公共交通活性化協議会負担金の減額理由は。

答 平成23年度まで国庫補助金は市が申請し、交付額を事業所に交付。24年度から事業者が直接申請し、交付されることになり相当額が減額した。

問 社会資本整備総合交付金を活用した交通安全対策の予定は。

答 25年度予定はない。26年度は防災・安全交付金を活用し、通学路の交通安全対策を進める。11月に交付申請し、新年度に向け準備危機管理室

問 自主防災会の補助金交付限度は。

答 補助率は2分の1以内、補助限度額は15万円。申請額は1回限り。

問 申請額が限度額に満たない自主防災会に対し、追加交付はあるか。

答 資機材等整備事業費補助金交付要綱の規定で1回限り。

財政課

問 合併特例債で基金積立をしているが、貸付利子および基金利子の状況は。

答 21年度から合併特例債を発行。年3億円をまちづくり振興基金に積立て。基金の24年度末現在高は12億円。22年度からの基金利子は約100万円。合併特例債の24年度末残高は元金9億6,900万円、利子1,990万4千円。

厚生常任委員会

審査ポイント

窓口無料化方式、国のペナルティー内容は

▼ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正
子育て支援課

問 この改正は、親の医療費も該当になるか。

答 DVを受けた父または母及び児童の医療費に関する内容。

問 戸籍上夫婦でも対象になるのか。

答 DVにより父または母が裁判所から保護命令を受けた場合、戸籍上夫婦でもひとり親家庭と見なし、助成金を受けられる。

▼重度心身障害者医療費助成条例中改正
福祉課

問 改正後、受給者の新たな手続きは。

答 いままでは受給者が窓口を受給者証を提示すれば、自己負担はなかった。改正後は自己負担金を医療機関に支払う。医療機関は受給者のレセプト情報を国保連に提供し、その情報をもとに市が受給者

に助成する。受給者は新たに手続きを行うことはない。

問 いったん自己負担額を立替えるが対策は。

答 県の無利子貸付制度がある。

問 窓口無料化方式に対する国のペナルティーの内容は。

答 窓口無料化方式は受診を容易にさせるもので、国は国庫負担金を減額するペナルティーを課している。

県は2分の1を補助し、残りを市町村が補填してきた。窓口無料化導入時の試算を大きく上回り、県・市町村財政を圧迫し、制度自体の継続を難しくさせている。

DV=ドメスティックバイオレンス
同居関係にある配偶者や内縁関係の間で起こる家庭内暴力



DVの啓発資料

産業土木常任委員会

審査ポイント

大鳥居農道整備で減額した用地取得費内容は

▼平成24年度中央市一般会計補正予算(第7号)
農政課

問 大鳥居農道整備で減額した用地取得費の内容は。

答 買収予定地の所有権は28人の相続人。用地交渉で26人から同意を得たが、残り2人と交渉が進まず買収できないため減額。

問 農林水産業債の減額内容は。

答 県営湛水防除事業・地元負担金は、県事業に合わせ元金交付金の対象予定だが、県事業が国の予備費事業のため、元金交付金の対象外となった。市は、県に合わせ予算を修正した。

▼平成25年度田富よし原処理センター事業特別会計補正予算(第1号)
下水道課

問 管渠移管計画の策定内容は。

答 既存管渠の資産評価、受益者負担金の算出、企業に求



整備予定の大鳥居農道

閉会中の常任委員会 調査・研究報告

総務教育常任委員会

日時

平成25年7月24日（水）
午前9時～

テーマ

通学路の安全対策について



昨年、通学路の児童の列に車が突っ込み、多くの死傷者がでました。京都府亀岡市で発生した痛ましい事故でした。このことから、中央市をはじめ全国において、通学路の安全点検が実施されました。当委員会は中央市が取り組んできた「通学路の安全点検と対策状況」等の詳細を、市当

局より説明を受け、内容の確認を行いました。危険箇所41カ所（うち2カ所通学路外）、すべて対策済みでした。質疑応答も活発に行われ、感心度の高い研究会でした。児童の安全を市民の皆さんと共に守り、継続して安全点検と対策を行う事を確認しました。

厚生常任委員会

日時

平成25年7月25日（木）
午前9時～

テーマ

国民健康保険について

近年、雇用情勢の悪化と高齢化を背景に、国保財政運営の逼迫は深刻です。そのため委員会では国保制度、事業の概要説明を受け、現状での問題点を模索しました。税の滞納者に対する督促、短期被保険証の交付、財産差し押さえなどの対応処置には苦慮がうかがえます。医療費は年々増加しており、年齢階層別、疾病別などの医療費の推移を検証しました。

医療費の抑制は重要問題であり、健康寿命の延長を目的とした特定健康診査等事業による、生活習慣病の予防の充実の必要性を再確認しました。



産業土木常任委員会

日時

平成25年7月26日（金）
午前9時～

テーマ

シルクの里振興公社の新制度による法人化の方針を早急に

平成20年12月1日に公益法人制度改革関連三法が施行されました。施行日から5年を経過する本年11月30日までに

行政庁に所定の申請を行い、認定または認可を得て、新制度の法人へ移行することが定められており、期限までに移行を行わない法人は解散したものとみなされることから、関心が寄せられていました。財団法人シルクの里振興公社がその対象となっており、担当者から新公益法人化に向けての取り組み状況及び今後の方針等説明を受け、議論されました。同公社は認定審査会より公益性に欠けるとの指摘をされ認定は難しいことが説明されました。参加議員からは、期限が迫っているので早急に今後の方針決定をすべきだとの意見が出されました。



現地視察報告

浅原橋架替工事を視察

産業土木常任委員会では、6月19日に県の事業で架け替え工事が行われている浅原橋を訪れ、工事の進ちょく状況等について、現地視察を行いました。

県（中北建設事務所道路課）および施工業者から、工事の概要、新橋の供用開始時期（本年11月末）などについて、説明を受けました。



建設中の浅原橋

【浅原橋の概要】

浅原橋は昭和39年に完成しており、すでに49年が経過、老朽化とともに安全性が低下し、早急に架け替える必要が生じたため、平成17年より調査・設計に着手した。

平成25年9月定例会の予定

9月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に傍聴においでください。

10日(火)	午前10時	開 会	19日(木)	午前9時30分	厚生常任委員会
12日(木)	午前10時	一般質問	20日(金)	午前9時30分	"
13日(金)	午前10時	一般質問	24日(火)	午前9時30分	産業土木常任委員会
17日(火)	午前9時30分	総務教育常任委員会	25日(水)	午前9時30分	"
18日(水)	午前9時30分	"	27日(金)	午前10時	閉 会

日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

議会の動き

4月

- 4日 市立小学校・中学校入学式
- 5日 市立保育園入園式
- 6日 信玄公まつり出陣式
- 9日 ふれあい福祉歩け歩け大会
- 16日 県市議会議長会定期総会
- 18日 東花輪駅前整備事業竣工式
- 22日 広報編集委員会
- 23日 市町村長及び市町村議会議長会議
- 25日 関東市議会議長会定期総会
- 29日 れんげまつり

5月

- 8日 広報編集委員会
- 9日 議会運営委員会
- 13日 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟
会総会及び計画説明会
- 17日 中北・峡南地区市町村議会議長会
- 21日 一般質問通告調整会議

- 21日 峡中地区都江堰市友好協議会定期総会
- 22日 全国市議会議長会定期総会
- 24日 日向山恩賜県有財産保護組合議会
- 30日 景観計画策定委員会委員委嘱式及び
第1回策定委員会

6月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 中巨摩地区広域事務組合議会運営委員会
- 11日 第2回定例会開会
- 21日 第2回定例会閉会
広報編集委員会
- 23日 甲府地区広域行政事務組合議会臨時会
- 27日 富士山世界遺産登録報告会
中巨摩地区広域事務組合議会第1回臨時会
健康づくり推進協議会
三郡衛生組合議会第1回臨時会
- 28日 中央市3大まつり検討委員会

市民の談話室



下河東下
内藤 正信

「人権の花」運動の啓発活動

南西の風に乗って308人の生徒と先生方が放った、色とりどりの風船が一斉に飛んでいくのは壮観でした。これは6月10日に玉穂南小学校で行われた「人権の花」の贈呈式の一コマでした。この風船には「いじめをなくそう」など書いたメッセージカードに、ポピーやラベンダーなどの種が縛り付けてあります。

甲府地方法務局や人権擁護委員連合会などでつくる、県人権啓発ネットワーク協議会が主催したもので、中央市と昭和町の人権擁護委員13人が参加して行われました。

今回は花の苗とプランターのほか、カブトムシの幼虫も送られました。花を育てながらカブトムシの成長過程を観察してもらいます。

「いじめ」が大きな問題となっている今日、「思いやりの心」を育てることはとても大切です。花を育てる優しい心をはぐくみ、友達や他人を大切にすることを大きく育てて、子どもたちがたくましく成長するように学校・家庭・地域が丸となって、人権尊重の輪を広げていくことが大切だと思います。報道4社にも協力願い、啓発効果が上がりました。



臼井阿原第2
入原 隆造

富士山世界文化遺産登録に寄せて

私たちが待ち望んでいた富士山の世界文化遺産登録が実現した。富士山の荘厳なる姿は遥かな昔から人々の信仰の対象となり、またその美しい姿はわが国独自の芸術文化を生み出してきた。

今回の「登録」を機に、私たちは改めて、日本人の心に宿る富士山の存在の大きさに気付かされたのではないだろうか。

しかし喜びの一方で、一抹の不安も残る。富士山フィーバーが始まり、観光客が増えることは大変喜ばしいことだが、「世界文化遺産」の名を汚すような事態が起きないか懸念する。富士山の美しさをそのままに、次の世代に渡す責務が私たちにはあるはずである。

さて、私事になるが、私は水墨画をたしなみ、中央市文化協会の一員として末席を汚している身である。私もいつの日か、富士山を題材に水墨画で「日本の心」を描きたいと節に思う。

当文化協会の活発な活動に参加できる喜びを感じながら、筆を持つこのごろである。

編集後記

今年は山梨県で国民文化祭が開かれています。初の通年開催だそうです。長年いろんな形で文化活動に参加してきた方も、この機会に今年初めて挑戦するという方もそれぞれ力が入っていると思います。また、作るのは苦手だけど全県・全国の素晴らしい作品に触れて楽しみたい。という方もいらっしゃると思います。それぞれにいろんな形で国文祭を楽しめるよう願っています。

中央市では写真展とハンドクラフト展が行われます。開会まであと2カ月余りとなりました。写真展

は「私の好きな道の駅」、ハンドクラフト展は「『人が真ん中』まごころはこぶ手づくり空間」ということがテーマで、中央市らしいいいテーマだと思います。どんな作品が応募されたのでしょうか。いまから開催が待ち遠しいです。 [木下 友貴]

議会広報編集委員会

委員長	田中 輝美
副委員長	木下 友貴
委員	河西 茂 名執 義高
	小池 満男 福田 清美